結心会

第7回モーター部会開催

生保成約目指し意見交換

一般社団法人保険健全化推進機構結心会（上野直昭会長）は2月9日、あいおいニッセイ同和損保新宿ビル（東京都渋谷区）で第7回モーター部会を開催した。部会ではモーターチャネル代理店での生保成約に役立てるため、講演や意見交換が行われた。当日は、会場とオンラインでモーター代理店などから43人が参加した。

モーター部会の参加者ら

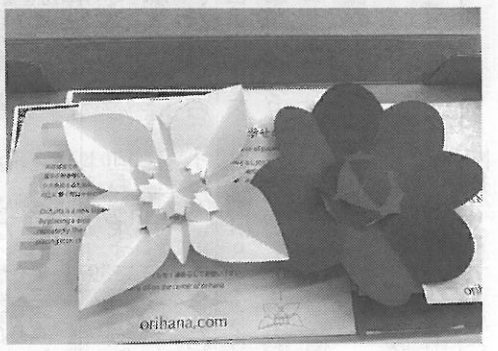
はじめに坂井モーター㈱代表取締役でモーター部会会長の坂井光藏氏があいさつし、「コロナのオミクロン株拡大で、マスクは2種類を使い分け、携帯用に自作したパーテーションも持ち歩き会話の際には使っている。感染対策と仕事は一緒。人口が減少し車は減っていく、電動化が一挙に進む等々、自動車業界は様変わりしていくことは明らかで、対策準備が求められている。新しい収益源として生命保険も重要だ。われわれにはお客さまがいるのだから、この無形資産であるお客さまにいろいろな提案をすることができるという圧倒的優位な位置にいる。これを生かし、生命保険募集から入ってお客さま情報の質と量を高め、10年先を見据えた展開をぜひ結心会に入会して取り組んでほしい」と述べた。

坂井氏

三谷氏

「折花」作り体験、イベントに活用

参加者が折花作りを体験



作成した折花

続いて、A&E代表の三谷基氏が、自身が生み出した「折花」について講演した。三谷氏は「一枚の紙を切って折ることで生まれる新しいおもてなし文化、それが『折花』だ。日本人には客人を迎え入れる際の細やかなしぐさ、形、そして特別な気遣いの文化があり、例えば茶道で飾られる一輪の茶花も単なる飾りでなく、茶の席全体での世界の中での演出であり、客人を迎える主人の思いが込められたものだ。一枚の折花には、そんな思いが込められている」と述べ、参加者と一緒に折花を作った。

上野会長は「子どもとママを対象としたイベントに活用したり、ワークショップを開催したら集客につながる。一緒に創ることでお客さまとの距離が一気に縮まり、指先を使うのでシニアの認知症予防としても活用いただければと思う。また、お客さまへの気の利いたプレゼントとして活用いただければと思い紹介した」とコメントした。

次に、NPO法人エコキャップ推進協会理事長の矢部信司氏が講演した。矢部氏は「当協会はペットボトルのキャップを集め、これを障がい者が作業所で粉砕、再生プラスチックとして販売し、収益をあげることで障がい者雇用の促進をしてきた。結心会からは10年以上にわたって支援いただいてきた。今回は車のバンパーを回収してこれを再生プラスチックに加工するので、ぜひモーターチャネル代理店の皆さまに取り組みいただきたい」と述べた。すでに本取り組みに賛同して運用を開始している㈱ミック（千葉県松戸市、池田定治社長）は「バンパー回収の収益を使って、子ども食堂の運営につなげたいので積極的に取り組んでいきたい」と発表した。

続いて、一般社団法人財務戦略診断協会代表理事の齊藤弘樹氏が、「決算書の見方」というテーマで講演。齊藤氏は「決算書を売上、変動費、固定費、粗利、利益でブロックパズルを作ると読みやすい」説明し、経営者である参加者からも「わかりやすかった」と好評だった。

その後、オンライン参加者も含め、現状の取り組みについて発表が行われた。

沖縄の西自動車商会の津嘉山社長は「生命保険代理店と共同募集で事業を進めているので、見込み客を見つけ一緒にアプローチすることで保険相談の8割は成約につながる実績ができている。とにかく車検等のお客さまにお声掛けすることが肝要」と述べた。

㈱アマギの小川社長は「車検のお客さまに生命保険の話から入るのではなく、当社は火災保険の提案から入り、整備工場で生命保険という最初のハードルを低くすることで成果につなげている」と紹介した。生命保険注力のためにまずは態勢整備を推し進めているという発表も相次ぎ、モーターチャネル代理店の生命保険の取り組みの将来性が極めて高いことが再認識された。

明治安田生命

4市と包括連携協定締結

健康づくりや産業振興など協力

明治安田生命は昨年12月22日、静岡県焼津市（中野弘道市長）、和歌山県岩出市（中芝正幸市長）、大阪府八尾市（大松桂右市長）、京都府京田辺市（上村崇市長）とそれぞれ幅広い分野での包括連携協定を締結したと発表した。

焼津市

焼津市と締結した協定は、①健康づくり支援に関すること②結婚、出産、子育て支援に関すること③産業および観光振興支援に関すること④市内企業の自立支援に関すること⑤市の魅力向上・情報発信に関すること⑥地域の安全・安心なまちづくりに関すること⑦その他、地方創生に関することーの7項目において両者が連携することを主な内容としている。同協定の締結により、焼津市が進める諸施策に、明治安田生命が保険事業や社会貢献活動等を通じて培った知見やノウハウを提供する。

岩出市

岩出市と締結した協定は、①健康づくりに関すること②スポーツ振興に関すること③結婚・出産・子育て支援に関すること④子どもの健全育成に関すること⑤産業・観光振興および地域経済の支援に関すること⑥環境保全に関すること⑦市民活動の推進に関すること⑧地域の安全・安心や防災・災害対策に関すること⑨その他、地域の活性化および市民サービスの向上に関することーの9項目において両者が連携することを主な内容としている。同協定の締結により、岩出市が進める諸施策に、明治安田生命が知見やノウハウを提供する。

八尾市

八尾市と締結した協定は、①健康・福祉に関すること②子ども・子育てに関すること③地域の活性化に関すること④魅力向上・情報発信に関すること⑤産業振興に関すること⑥防災・防犯に関すること⑦教育・スポーツに関すること⑧環境・美化に関すること⑨その他、両者の協議により決定した事項に関することーの9項目において両者が連携することを主な内容としている。同協定の締結により、八尾市が進める諸施策に、明治安田生命が知見やノウハウを提供する。

京田辺市

京田辺市と締結した協定は、①健康づくりに関すること②高齢者支援・子育て支援に関すること③産業・観光・文化スポーツの振興に関すること④その他地域活性化や市民サービスの向上に関することーの4項目において両者が連携することを主な内容としている。同協定の締結により、京田辺市が進める諸施策に、明治安田生命が知見やノウハウを提供する。

明治安田生命は、「地元の元気プロジェクト」の一環として、同社の営業網や全国規模のネットワークなどを活用して、協定自治体とともに地域社会の発展に取り組んでいく。また、同社は連携協定を地方自治体や金融機関等と進めており、今後も地域課題の解決に向け取り組んでいくとしている。

HOMAI WEB
保険毎日新聞社のホームページ
https://www.homai.co.jp